

令和元年度京都広報賞受賞作品の概要

(別紙)

広報紙・市の部

京都市 きょうと市民しんぶん5月1日号



(審査委員講評)

特集の問題抽出～課題設定～ターゲット設定～表現工夫～ゴールまで明確に企画されていることが見える好企画です。素晴らしい仕掛けができています。

全体を通してトーン＆マナーが統一されていて、ストレスなく読み通すことができます。



宇治市 宇治市政だより7月1日号

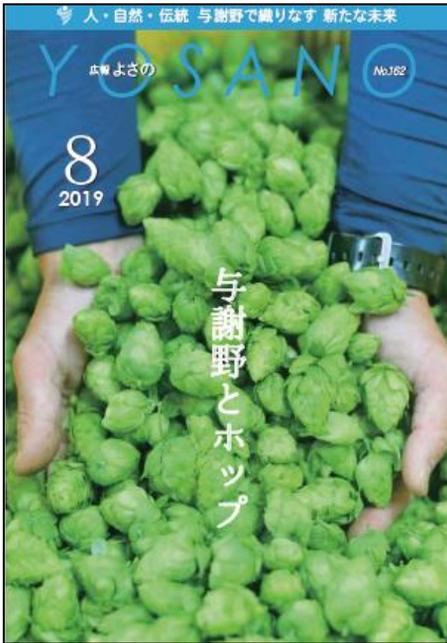


(審査委員講評)

うまくイラストや図版を用いて心に残るように組み立てられています。何を伝えるかを決めてないといけないことですね。一方で、伝えたいことが多すぎて少々読む順番を感わされてしまう印象です。

デザイン先行になりすぎないように、読み手の目になって取捨ができるようになるとよくなります。

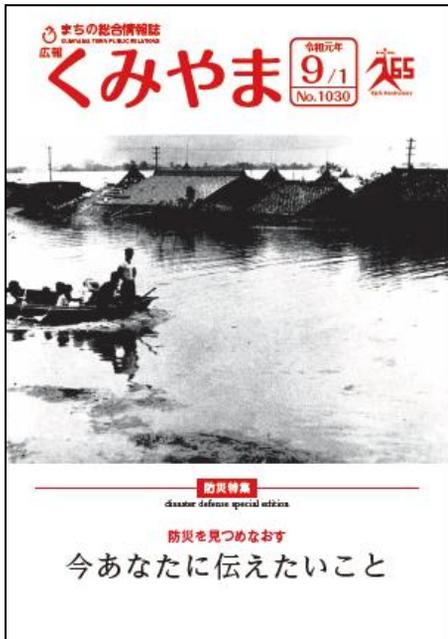
与謝野町 広報よさの 8月10日号



(審査委員講評)

「しっかり地域の魅力に光を当てて」ならでは「感を作り出せている」と思います。読み手の興味をそそる情報の広げ方も秀逸で読み応えも十分です！全体を通して地域感を感じられる作りで町の雰囲気うまく表現できていると思います。

久御山町 まちの総合情報誌 広報くみやま 9月1日号



(審査委員講評)

表紙の作り方が秀逸ですね。開けてみたいと思わせます。様々な経験をしっかり取材もできていて、読み応えもありました、ワークシートへ無理なく誘導されるので、住民にとって行動に結びつけやすい良い企画になっています。

写真・1枚写真の部

知事賞

福知山市 広報ふくちやま 11月号2~3ページ (吉良恭蔵さん)



(審査委員講評)

笑顔と、動きと。偶然性も含めた、決定的瞬間を表した素晴らしい写真です。写真の力だけでなく、レイアウトとコピーもマッチしていて、勢いのある紙面に仕上がっています。

これを機に「優等生」などだけではなく、さらに踏み込んだ写真を多く撮られることを願っています。

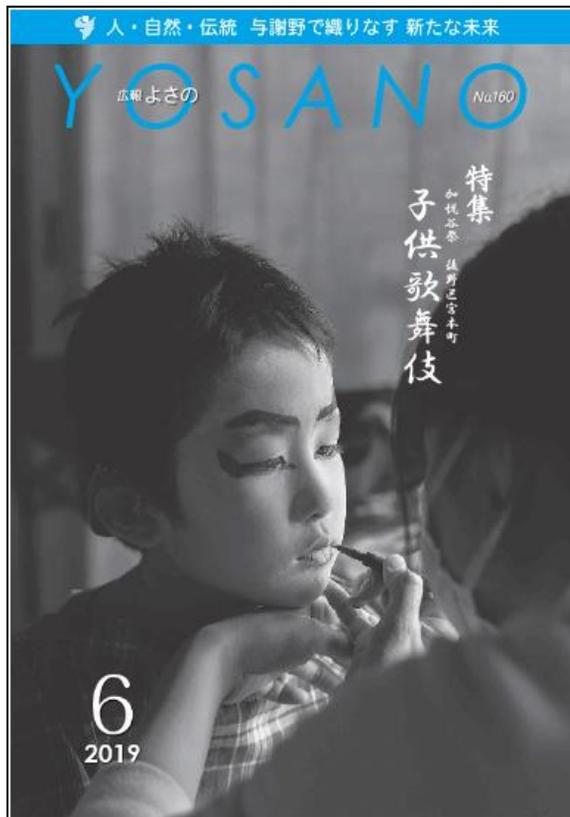
会長賞

与謝野町 広報よさの
6月10日号表紙
(永井 大地さん)

(審査委員講評)

光回り、露出、構図、ピント、絞り、など、カメラワークはということなしの力量です。マイナスになりかねない、モノクロという紙面を逆手にとった静かな美しさに満ちています。

「決め撮り」だけではなく、決定的瞬間を意識において撮影すれば、より人々の気持ちを奪うことができると思うので是非トライしてみてください。



写真・組み写真の部



福知山市 広報ふくちやま5月号4～5ページ (吉良恭蔵さん)



(審査委員講評)

一枚一枚の写真が、広報目的に沿ってとても丁寧に撮影され、また見事な組み写真としてまとめられています。レイアウトやタイトルなども心遣いをもってつくられており、大変素晴らしい紙面になっています。

現地を知っている審査員が「この場所にこんなに人が！」と驚いていました。地のイメージをつくる、塗り替える、これぞ広報の力だと思います。



京丹後市 広報京丹後 11月号16ページ (安達純さん、石井昌宏さん)



(審査委員講評)

それぞれの写真が、しっかりとしたカメラワークの力量を持って、丁寧に撮影されています。色合いも美しく上品な鮮やかさです。さまざまなシーンの組み合わせのバランスもとても良く仕上がっています。

京丹後の自然とランナー、そして住民の方々が楽しんでいるさまがさわやかな風のように感じられました。

映像の部

知事賞

南丹市 もぎたてニュースサタデー特集 「地元の魅力を写真におさめる」



(審査委員講評)

自治体の企画でよくあるフォトコンテスト。そのフォトコンテストをテーマに一人の受賞者をクローズアップし、地元愛、地元の素晴らしさがよく表現されている。受賞した作品を撮影した時の秘話や写真撮影の醍醐味など、制作者が丁寧に話を聞き出したからこそ今回の作品が生まれた。この方の話が上手いというよりも、ディレクターの質問の仕方が上手かったのだと思う。市町村広報では面白いネタ、人物が常にいる訳ではない。しかし、住民の姿を映し出し、番組を見た人に何かを使えたい。その純粋な気持ちがあればここまで素晴らしい作品ができる。そう感じさせてくれる番組であった。

会長賞

長岡京市 戦国時代を駆け抜けた4人の物語

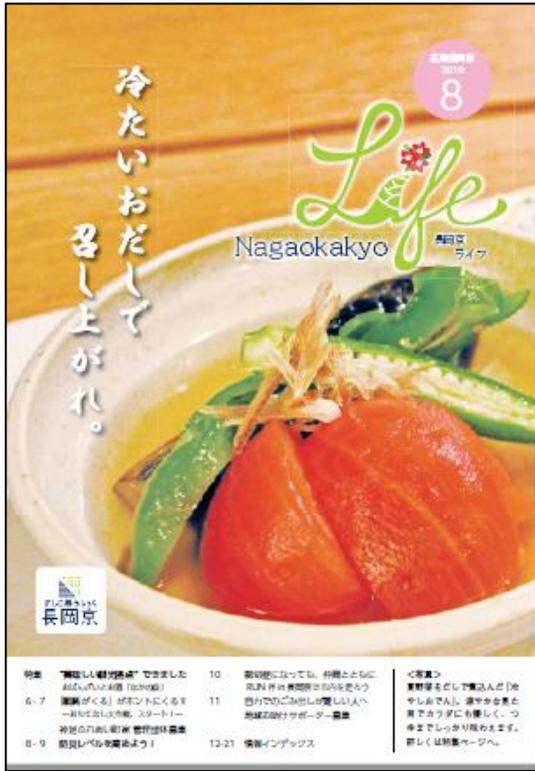


(審査委員講評)

歴史に関する映像は単に映像を制作する以上の苦労がある。担当者自身が学び、それを制作業者に伝えないといけない。また、「何のための映像か？」制作チーム全員で意思統一しないと視聴者に伝わる映像にならない。非常に困難なミッションをやり遂げた事を最大限評価したい。歴史好きの方を対象にするのではなく、歴史に関心がない市民をターゲットに制作している点も素晴らしい。今回の大河ドラマの盛り上がりで興味を持ち出した方には最適の作品である。長岡京市のスポットである勝竜寺城のインパクトも強く、今回の大河の盛り上がりを生かそうとする市の強い意志を感じる。

長岡京市 長岡京ライフ8月号

〈府民賞〉 府民から見た広報紙の読みやすさ、見やすさをWEB投票によって決定。



(主な意見)

広関心を引くような記事と、写真や色使いに工夫が見られとても読みやすかった。情報コーナーもちょっとした気遣いで読みやすくなっている。キャッチーな感じで興味を持って読みやすく感じた。美味しそうな食べ物の写真で興味が出ます。